

図書館通信 11月

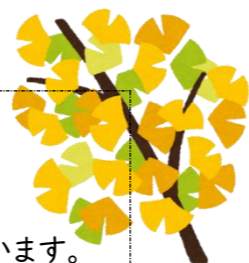
教室掲示用

2024.11 土浦湖北高校図書館

図書館からのメッセージ

今年の「立冬」は11月7日でした。「立冬」は二十四節気の一つで、冬の兆しが見え始める頃です。朝晩の冷え込みに、冬の到来を感じます。暦の上では、もう冬が始まっています。

～本に纏わる言葉～
宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことができる。 ウォルト・ディズニー



図書館からのお知らせ

11月6日(水)土浦図書館で「茨城県南地区生徒図書委員研修会」が開催されました。本校からは、図書委員4名が「ビブリオバトル」という分科会に参加しました。本来の「ビブリオバトル」は、ビブリオバトルと呼ばれる発表者達が、おすすめ本を持ち合い、書評した後、皆が読みたくなった本「チャンプ本」を決定する「書評合戦」です。

しかし今回の研修では、「ゆるく本を紹介した後、ゆるく質疑応答して、自由な賞をそれぞれに与える」というコンセプトで行われました。本校の図書委員も他校生と一緒に、気負わず楽しくゆるゆると本について話し合っていました。



図書委員になると、他校の図書委員と一緒に楽しい本のイベントに参加することもできます。

図書委員のすすめる一冊

はせがわゆうじ 『もうじきたべられるぼく』(中央公論新社)



「もうじきたべられるぼく」は、心がざわざわするような怖さがあった、でもどこか切なさも感じた。食べられる運命にある主人公の気持ちが伝わってきて、考えさせられた。牛の気持ちが人間のように描かれていて、「食べ物」と「生き物としての牛」との境界があいまいになってしまっていて、食べ物としてみていいのか、どっちとしてみればいいのか分からなくなって、何とも言えない気持ちになった。

今、話題になっている絵本です。皆さんはどう読みますか？

新着本紹介

リクエスト本など多数入っています。ぜひ新着本コーナーを覗いてみてください。

No	書名	著者	No	書名	著者
1	本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む - 走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚	かまど/みくのしん	26	ライチョウ、翔んだ。	近藤幸夫
2	「LINE 公式アカウント」5G時代の"神"営業術	菅谷信一	27	ルポ海外「臓器売買」の闇	読売新聞社会部取材班
3	世界一豊かなスイスとそっくりな国ニッポン	川口マーン恵美	28	ほっといて欲しいけど、ひとりはいや。	ダンシングスネイル
4	国際情勢に強くなる英語キーワード	明石和康	29	料理の四面体	玉村豊男
5	古文の読みかた	藤井貞和	30	寿司の「魔力」	瀧本伸哉
6	詩のころを読む	茨木のり子	31	新さかなの経済学	山下東子
7	中村哲思索と行動 上	中村哲	32	だめな数学	中川学
8	年収 300 万円、掃除夫だった僕が 7 億円貯めた方法	www9945	33	かってもまけてもいいんだよ	オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ
9	世界一やさしい投資信託・ETFの教科書 1 年生	Dr.ちゅり男	34	きみのそばにいるよ	いぬいさえこ
10	「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか?	今井むつみ	35	もうじきたべられるぼく	はせがわゆうじ
11	テヘランのすてきな女	金井真紀	36	あの素晴らしい日々	加藤和彦
12	男はなぜ孤独死するのか	トーマス・ジョイナー	37	かくして、死刑は執行停止される	菊田幸一
13	戦争と沖縄	池宮城秀意	38	ミステリーで読む平成時代	古橋信孝
14	シェイクスピア名言集	小田島雄志	39	暗殺	柴田哲孝
15	聖書物語	山形孝夫	40	冷たい校舎の時は止まる 上	辻村深月
16	わたしたちと世界	武田清子	41	冷たい校舎の時は止まる 下	辻村深月
17	詩の楽しみ	吉野弘	42	笑うマトリョーシカ	早見和真
18	Z 世代化する社会	舟津昌平	43	黒地の絵 49 刷改版	松本清張
19	世界ぐるぐる怪異紀行	奥野克巳	44	N	道尾秀介
20	米軍基地と環境汚染	田中修三	45	#真相をお話します	結城真一郎
21	ニセ科学を 10 倍楽しむ本	山本弘	46	パーティーが終わって、中年が始まる	pha
22	「科学的に正しい」とは何か	リー・マッキンタイア	47	野犬の仔犬チトー	伊藤比呂美
23	速読英熟語 改訂版	岡田 賢三	48	こんなふうにも、暮らしと人を書いた	大平一枝
24	水族館飼育係だけがみられる世界	下村実	49	大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした	クルベウ
25	動物たちは何をしゃべっているのか?	山極寿一	50	死んでから俺にはいろんなことがあった	リカルド・アドルフォ

